

# 土浦ケーブルテレビ株式会社

## 放送番組審議会 議事録

2019年度の放送番組審議会は、2020年2月25日（火）に土浦ケーブルテレビで開催された。

### <放送番組審議会委員>

ご出席者

楠	康夫様	坂本	榮様
羽成	健之様	松田	裕雄様
宮本	幸男様		

(50音順)

ご欠席

安藤真理子様

### 審議会会長選任

会長に坂本様を選任した。

事業者側から現況報告及びJ:COMチャンネルの取り組みにつき、報告があった。

### 【審議 質疑応答】(坂本会長による進行)

#### ■番組放送について

(委員) 今年1月からデイリーニュースが始まり、放送以外スマホのアプリで番組が見られるようになった背景について伺いたい。

(橋本社長) スマホが普及し、多くの方がスマホから様々な情報を得ている現在、アプリを通じて地域情報のコンテンツを提供することが重要であると考えている。そのため通信を利用した放送の必要性が背景にあります。

(委員) スマホでの利用状況、閲覧状況について

(事業者) 「ど・ろーかる」アプリはデイリーニュース、人図鑑や他局で放送し

ているデイリーニュース、人図鑑、特番などが観ることが可能。アクセス数は分かるがどのエリアの人がアクセスしているかは分からない。

#### ■番組制作について

(委員) 地域の番組をたくさん制作していると感じた。土浦市も連携して地域の魅力・情報を伝えていきたい。シティプロモーションという形で市の魅力を発信。J:COM から知恵を借りて情報発信の工夫ができればと考えている。

(委員) 情報を伝えるといったスタンスで、今後も頑張ってもらいたい。行政と J:COM が連携し、情報を多く発信してもらいたい。さらに連携を深め正しい情報を伝えてほしい。

#### ■番組コンテンツについて

(委員) スポーツの団体でも少年団から企業、NPO 法人などレベルが違います。選手たちがマスコミに出る。取材を受けた事がパワーになる。沢山の団体があるので取り上げてほしい。

(委員) 地域密着チャンネル(11ch)と全国発信チャンネル(10ch)と2つありますが、地域密着の中で育てたコンテンツは全国発信になった事例はあるか。

(事業者) 土浦全国花火競技大会はもともと地域の番組として放送していましたが、これを全国に発信すべきと考え、全国向けに発信致しました。

(委員) 筑波大学の持っているもので利用できるものがある。特にスポーツに関してはアスレチック部門が、全国に先駆けて組織され各部活動に全国から優秀な選手が集まって来ているので、選手の出身地と繋がる番組ができるのではないかと、また大使などを学生が担う形などでもできると思います。防災に関しては、本当に必要な時に、必要なところへ必要な物資を届けたいが、間に色々な団体が入ると結局届かない時がある。それを解消するためのアプリなどが作れないか。防災は自助・公助・共助と三つある。共に助け合う共助の部分が足りないと感じる。共助の部分にビジネスチャンスはある。

(事業者) 非常に良いご意見をありがとうございます。早急に会社として何か良いアクションがとれるかどうか検討致します。

■閉会（事務局）

各委員から頂いた貴重なご意見、ご要望を今後の番組制作に活かしていく所存です。

以上